

SYLLABUS

シラバス

令和8年度前期

理学療法士科 3年次

医療法人社団 慈恵会

神戸総合医療専門学校

理学療法士科 教育課程（令和8年度前期）

3年次

科目名	単位数	時間数	年次	時期	科目名	単位数	時間数	年次	時期
倫理学	2	30	1	前期	理学療法評価学Ⅰ	1	30	1	後期
物理学	1	15	1	前期	理学療法評価学Ⅱ	1	30	1	後期
統計学	1	15	1	前期	理学療法評価学Ⅲ	1	30	1	後期
生物学	2	30	1	前期	理学療法評価学Ⅳ	1	30	2	前期
医学英語	2	30	1	前期	理学療法評価学Ⅴ	1	30	2	前期
保健体育Ⅰ	1	30	1	前期	理学療法評価学Ⅵ	1	30	2	前期
保健体育Ⅱ	1	30	1	後期	運動療法学Ⅰ	1	30	2	前期
情報処理演習	1	15	1	前期	運動療法学Ⅱ	1	30	2	前期
コミュニケーション論	2	30	1	後期	物理療法学Ⅰ	1	30	2	前期
キャリア教育Ⅰ	2	30	1	前期	物理療法学Ⅱ	1	30	2	後期
キャリア教育Ⅱ	1	15	3	前期	日常生活活動学Ⅰ	1	30	2	前期
解剖学Ⅰ	2	60	1	前期	日常生活活動学Ⅱ	1	30	2	後期
解剖学Ⅱ	1	30	1	後期	装具学	1	30	2	前期
解剖学演習Ⅰ	1	15	1	前期	義肢学	1	30	2	後期
解剖学演習Ⅱ	1	30	1	前期	運動器系理学療法学Ⅰ	1	30	2	前期
解剖学演習Ⅲ	1	30	1	後期	運動器系理学療法学Ⅱ	1	30	2	後期
生理学Ⅰ	1	30	1	前期	内部障害理学療法学Ⅰ	1	30	2	前期
生理学Ⅱ	1	30	1	後期	内部障害理学療法学Ⅱ	1	30	2	前期
生理学Ⅲ	1	30	1	後期	中枢神経系理学療法学Ⅰ	1	30	2	前期
運動生理学演習	1	30	1	後期	中枢神経系理学療法学Ⅱ	1	30	2	後期
運動学Ⅰ	1	30	1	後期	中枢神経系理学療法学Ⅲ	1	30	2	前期
運動学Ⅱ	1	30	1	後期	中枢神経系理学療法学Ⅳ	1	15	2	後期
運動学Ⅲ	1	30	1	後期	小児理学療法学	1	30	2	後期
人間発達学	1	30	1	前期	スポーツ障害理学療法学	1	30	2	後期
内科学Ⅰ	1	30	1	後期	疼痛理学療法学	1	30	2	後期
内科学Ⅱ	1	30	2	前期	理学療法臨床技能演習	1	30	2	後期
臨床心理学	1	30	1	前期	地域理学療法学総論	1	30	2	後期
精神医学	1	30	2	後期	生活環境学	1	30	2	後期
整形外科Ⅰ	1	30	2	前期	地域理学療法学各論	1	30	3	後期
整形外科Ⅱ	1	30	2	後期	臨床実習Ⅰ	1	45	1	後期
神経内科学Ⅰ	1	30	2	前期	臨床実習Ⅱ	3	135	2	後期
神経内科学Ⅱ	1	30	2	後期	臨床実習Ⅲ	7	315	3	前期
小児科学	1	15	1	後期	臨床実習Ⅳ	7	315	3	後期
一般臨床医学Ⅰ	1	30	2	前期	臨床実習Ⅴ	2	90	3	前期
一般臨床医学Ⅱ	1	30	2	後期	理学療法特論Ⅰ	1	30	1	前期
病理学概論	1	30	1	後期	理学療法特論Ⅱ	1	30	1	後期
臨床栄養学	1	15	2	前期	理学療法特論Ⅲ	1	30	2	前期
臨床薬学	1	15	2	前期	理学療法特論Ⅳ	1	30	2	後期
公衆衛生学	1	30	1	後期	総合理学療法学演習Ⅰ	3	90	3	前期
社会福祉学	1	30	1	後期	総合理学療法学演習Ⅱ	3	90	3	後期
リハビリテーション概論	1	30	1	前期					
リハビリテーション医学	1	30	2	後期					
理学療法概論Ⅰ	1	30	1	前期					
理学療法概論Ⅱ	1	30	2	前期					
臨床運動学	1	30	2	前期					
基礎理学療法学演習Ⅰ	1	30	1	後期					
基礎理学療法学演習Ⅱ	1	30	2	後期					
理学療法研究論	1	15	3	後期					
理学療法管理学Ⅰ	1	15	1	後期					
理学療法管理学Ⅱ	1	15	2	後期					

令和8年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
キャリア教育Ⅱ		講義・演習	福林 秀幸	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
最終学年での課題は臨床実習・国家試験学習・就職活動が主である。本科目においては自己の振り返りを行い、より望ましいキャリアの実現をイメージし、それを踏まえて最大限に自己表現できる能力を身につける。そのうえで、自らが望む施設で理学療法士として活躍できるように就職活動に必要な知識や面接力を修得することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 自己を客観的に振り返り、将来像を具体的にイメージすることができる。 2. 自分自身や自己の考えについて、履歴書に適切に表現できる。 3. 就職活動に必要な知識を学び、面接力を身につける。				
授業計画				
回	内容			
1	自己を見つめなおす（学生生活、学業の振り返り）・キャリアデザイン・就職の心構え			
2	履歴書の書き方			
3	履歴書の書き方			
4	就職試験の心構え			
5	面接取り組み			
6	面接取り組み			
7	履歴書・面接の実際			
8	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題	100%	提出物の内容・提出のルール順守について評価する。評価内容に関しては別途、提示する。		
小テスト				
その他				
自由記載		自己の振り返りや課題に真摯に取り組んでいたかについて評価する。評価基準は別途示す。		
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
就職の手引き2026	本校発行			
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				
キャリア教育Ⅰ・理学療法管理学Ⅱ等での資料や課題を参照する（持参については指示する）。				

令和8年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅲ		実習	坂東 恵美子・福林 秀幸・前川 加奈 小林 正明・谷 和真・小堀 博史	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
315 時間（7 単位）		回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
総合臨床実習（1回目） 1・2年生で学んだ理学療法専門基礎分野・理学療法専門分野の知識を生かし、臨床実習施設で対象者に実習指導者の指導・助言のもと基本的理学療法を实践する。また、リハビリテーションチームの一員として理学療法士としての役割や責任を理解し、多職種と連携していく大切さを認識する。				
授業の到達目標				
1.対象者の病期・背景をふまえ障害像を把握しその理由について説明できる。 2.対象者の治療目標および治療計画を立案し、その根拠について説明できる。 3.リスク管理を行いながら患者さまの治療を实践する。 4.理学療法の治療効果を確認し、その内容について説明できる。 5.多職種と関わり、チーム医療についての重要性を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
	臨床実習前評価 5時間			
	施設実習 1週目	280時間		
	施設実習 2週目			
	施設実習 3週目			
	施設実習 4週目			
	施設実習 5週目			
	施設実習 6週目			
	施設実習 7週目			
	学修時間	28時間		
	臨床実習後評価	2時間		
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他		実習内容、臨床実習前後評価等総合的に評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	実習のてびき配布			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
実習前に配布する手引きを熟読したうえで、実習に臨み真摯に取り組むこと。 課題以外にも自分が知識不足、技能不足と思ったことは自己研鑽すること。				

令和8年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅴ		実習	坂東 恵美子・福林 秀幸・前川 加奈 小林 正明・谷 和真・小堀 博史	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
90 時間 （ 2 単位）		回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
地域リハビリテーション実習 訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション施設において、地域で生活している利用者様の生活機能について理解し、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割と責任について理解する。また、地域包括ケアシステムに關与する關連専門職種の役割を理解する。				
授業の到達目標				
1. 地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割について説明できる。 2. 地域包括ケアシステムにおける關連職種の役割を理解する。 3. 利用者さまの生活機能について理解する。 4. ケアプランの立案過程について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
	実習前オリエンテーション	1時間		
	施設実習 1週目	80時間		
	施設実習 2週目			
	学修	8時間		
	実習後報告会	1時間		
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他		実習内容、臨床実習前後評価等総合的に評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	実習のてびき配布			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
実習前に配布する手引きを熟読したうえで、実習に臨み真摯に取り組むこと。 課題以外にも自分が知識不足、技能不足と思ったことは自己研鑽すること。				

科目名		授業形態		担当教員名	
総合理学療法学演習 I		演習		坂東 恵美子・福林 秀幸・前川 加奈 小林 正明・谷 和真・小堀 博史	
時間数 (単位数)		授業回数		年次	
90 時間 (3 単位)		45 回		3 年次	
開講時期					
前期					
授業の目的・概要					
最終学年において、来年2月の国家試験に向けこれまでの知識の再復習を行う。					
授業の到達目標					
理学療法基礎分野の知識の整理を行い、身体の機能や構造について説明できる。					
授業計画					
回	内容				
1	オリエンテーション①		31	基礎学習 (28)	
2	オリエンテーション②		32	基礎学習 (29)	
3	国家試験について		33	基礎学習 (30)	
4	基礎学習 (1)		34	基礎学習 (31)	
5	基礎学習 (2)		35	基礎学習 (32)	
6	基礎学習 (3)		36	基礎学習 (33)	
7	基礎学習 (4)		37	基礎学習 (34)	
8	基礎学習 (5)		38	基礎学習 (35)	
9	基礎学習 (6)		39	基礎学習 (36)	
10	基礎学習 (7)		40	基礎学習 (37)	
11	基礎学習 (8)		41	基礎学習 (38)	
12	基礎学習 (9)		42	基礎学習 (39)	
13	基礎学習 (10)		43	基礎学習 (40)	
14	基礎学習 (11)		44	総復習①	
15	基礎学習 (12)		45	総復習②	
16	基礎学習 (13)				
17	基礎学習 (14)				
18	基礎学習 (15)				
19	基礎学習 (16)				
20	基礎学習 (17)				
21	基礎学習 (18)				
22	基礎学習 (19)				
23	基礎学習 (20)				
24	基礎学習 (21)				
25	基礎学習 (22)				
26	基礎学習 (23)				
27	基礎学習 (24)				
28	基礎学習 (25)				
29	基礎学習 (26)				
30	基礎学習 (27)				

科目名
総合理学療法学演習 I

成績の評価方法と基準		
種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験		
レポート・課題		
小テスト		
その他		
自由記載	随時行う課題の取り組みで評価する	
教科書		
書名	著者・編集者名	出版社名
なし		
自由記載		
参考文献		
書名	著者・編集者名	出版社名
自由記載		
備考		
各自、自主学習・自己研鑽に励むこと。		